

「日本の文化 竹に心惹かれて」

長野県建設労連では、伝統技能を次世代へ継承するため、県や内外関係者とタイアップし、中堅大工を対象とした「信州職人学校・伝統大工コース」を、2009年より開講しています。

このコースは、信州の歴史と風土をふまえ、建築大工としての伝統的技量の向上を図るとともに、現代の多様なニーズの中で新たな仕事分野を開拓しうる能力の育成をめざします。

この公開講座は、通常の授業では盛り込めない内容をテーマに、受講生への座学を兼ねて、一般市民も参加できるオープンセミナーとして年数回開催しており、今回が今年度最後の開催になります。

今回は、「日本の文化 竹に心惹かれて」と題し、長野市篠ノ井において親子三代で「竹の手仕事人」として活躍されている、小出 九六生氏をお招きして公開講座を行います。

竹のもつ無限の可能性に魅せられ、竹一筋に半世紀を生きられた「竹の手仕事人」の、溢れんばかりの竹への思いと信念を熱く語っていただきます。竹垣づくりや手入れをすることができる「竹の手仕事人」も少なくなり、技術の衰退も懸念されている中、日本の文化である竹の良さを、後世に残していくための取組みを熱心にされている小出氏を迎え、竹の基礎知識、実際の竹垣づくりなどの様子、技能継承の取組みについて、語っていただきます。

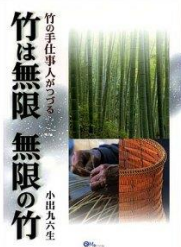
今では、貴重な存在となった「竹の手仕事人」から話が聞けるまたとない機会です。関心をお持ちの若手・中堅職人、事業主、市民、学生など、多くの方々の参加をお待ちしています。

- 日 時：2013年11月9日（土）10：40～12：10
- 会 場：建労会館3F 大会議室（松本市宮渕本村1-2）
- 受講料：無料 ■定 員：50名（定員になり次第締切）
- 講 師：小出 九六生 氏（小出竹材店）

【こいで・つむお】1934（昭和9）年、長野市生まれ。1954（昭和29）年、19歳で竹工として飯島竹細工店に見習いとして入る。1955（昭和30）年、父亡き後、小出竹材店の二代目を継ぐ。1983（昭和58）年、竹の存亡をかけ国道18号線篠ノ井バイパスに店舗新装オープンして、現在に至る。本業のかたわら、後進の指導・育成、地域での竹文化振興活動などに活躍中。財団法人竹文化振興協会会員、全日本竹産業連合会常任理事、特定非営利活動法人信州伝統的建造物保存技術研究会（信伝研）会員。



【主な仕事】善光寺本堂前庭・竹垣奉納事業（7年に一度の盛儀「善光寺御開帳」にあわせ、長野造園事業協同組合およびNPO法人長野市環境緑化協会の賛同・協力によって制作。若手造園技能者の研修育成を兼ねた事業）その他、住宅、民家等の生垣、商業・文化施設内の竹のオブジェ等の仕事も多数。



▲著書「竹は無限無限の竹」



▲善光寺本堂前庭の竹垣奉納事業
左：麻の葉垣 右：瑞竹垣



▲「歓喜」
長野駅前 宴席油や

- 申込方法：別紙申込用紙に必要事項を記入の上、11月6日（水）までに FAXにてお申込下さい。
- 主催（問合せ・申込み先）：長野県建設労連／伝統建築技能継承事業運営委員会
〒390-0864 松本市宮渕本村1-2 建労会館内長野県建設労働組合連合会
TEL 0263 (39) 7200 FAX 0263 (39) 7202 担当：原、矢ヶ崎、吉田

FAX 0263-39-7202

長野県建設労働組合連合会／伝統建築技能継承事業運営委員会宛

担当／原、矢ヶ崎、吉田

信州職人学校第 22 回公開講座 受講申込用紙

◆講師：小出 九六生 氏（小出竹材店）

◆演題：「日本の文化 竹に心惹かれて」

■日 時：2013 年 11 月 9 日（土）10 時 40 分～12 時 10 分

■会 場：建労会館 3F 大会議室（松本市宮淵本村 1－2）

■受講料：無料

■締 切：受講申込みの締め切りは 2013 年 11 月 6 日（水）

※) 上記に関わらず、定員（50 名）に達し次第締め切りとなります。

申込者氏名		
組合名 <small>※組合に所属し ていれば記入</small>		
連絡先	事業所名	
	住所	〒
	TEL	
	FAX	
	E-mail	
要望など		